

# 学校訪問と施設点検

## 文教委員会

11月25日に文教委員会を開催し、熊野第二小学校と熊野中学校を訪問しました。また、改修が完了した、学校トイレ、町民グラウンド、多目的グラウンド、熊野第三小学校擁壁の現場を視察しました。

### (1) 熊野第二小学校訪問

- 「低学年書道科」の授業を見学後、担当講師と意見交換を行いました。児童の集中力は途切れることなく、興味を持って書道に取り組む姿勢が見られました。
- 「学校トイレ洋式化工事」で整備された南校舎と体育館の洋式トイレ、オストメイト対応トイレを確認しました。



▲ 低学年書道科（1年生）の授業「まじわる」について



▲ オストメイト対応トイレ

### オストメイトとは…

病気などにより消化管や尿管が損なわれたため、腹部などに排泄のための人工肛門・人工膀胱を造設した人のこと。

### (2) 熊野中学校訪問

- 全学年の授業を見学後、タブレットを活用した授業の説明を受け、質疑を行いました。また、学校における新型コロナウイルス感染症対策について説明を受けました。



▲ タブレットを活用した数学の授業

### (3) 工事箇所点検視察

- 平成30年7月豪雨で被災した町民グラウンドと多目的グラウンドの改修工事箇所と、地震等により倒壊の危険性があった熊野第三小学校南側の擁壁改修工事の完了を受け、現地を確認しました。



▲ 多目的グラウンドに流入した土砂は撤去され工事が完了した現場



▲ 「熊野第三小学校擁壁改修工事」が完了した現場

今後も学校や社会教育施設の視察を行い、所管事務の現状や課題について委員会で協議を重ね、町教育行政のより良い将来を見据えて活動を行ってまいります。

# 介護保険制度の現状等について

## 総務厚生委員会

12月18日に総務厚生委員会を開催し、健康福祉部高齢者支援課から「介護保険制度の概要」及び「第8期介護保険事業計画策定」について報告を受けた後、質疑を行いました。

### 主な質疑

**Q 要支援、要介護の割合と、要介護認定者数はどのようになっているか。**

**A** 要支援20%、要介護80%の割合となっている。要介護区分では要介護1、2の割合が多い。要介護（要支援）認定者は1,224人（10月末）。認定率は約14.6%で県内では一番低い。



▲ 総務厚生委員会の様子

**Q 認定率が低い理由は。**

**A** これまで熊野町は前期高齢者（65歳～74歳）が多かった。平成30年10月に後期高齢者（75歳以上）の数が前期高齢者の数を上回った。今後も後期高齢者が増加するので認定率も上がってくると思われる。

**Q 要介護状態区分が要支援1から要介護5まで7区分あるが、認定結果に不満などはでないか。**

**A** 前回区分判定時より身体能力の低下がみられるのに「思いと違う」といった声を聞くことはある。表面上だけでなく、認知症の問題もあり、そういったことから思いの違いというものはあると思う。年に数名は、区分変更の申請もある。

**Q コロナの影響はでているか。**

**A** デイサービスの利用を控える方や感染拡大地域の親族と接触したため、2週間サービスが使えないといったケースがある。また、久しぶりに会ったら認知が進んでいたというケースもある。

**Q コロナ感染症疑い患者搬送車両の今後の運用は。**

**A** まずコロナの相談は県の保健センターにしてもらい、公共機関でないと検査できない人は基本的には県が搬送車を出すようになっている。感染拡大期など、県が動けない場合、県から要請を受けたときに使用する。補助金の交付を受ける際、広域的な貸し借りはある旨説明を受けており、令和2年12月10日から県を通じて広島市に貸し出ししている。



▲ 新型コロナウイルス感染症疑い患者搬送車両

コロナ禍の中ではあるが、当委員会では必要な対策について町へ政策提言を行ってまいります。